

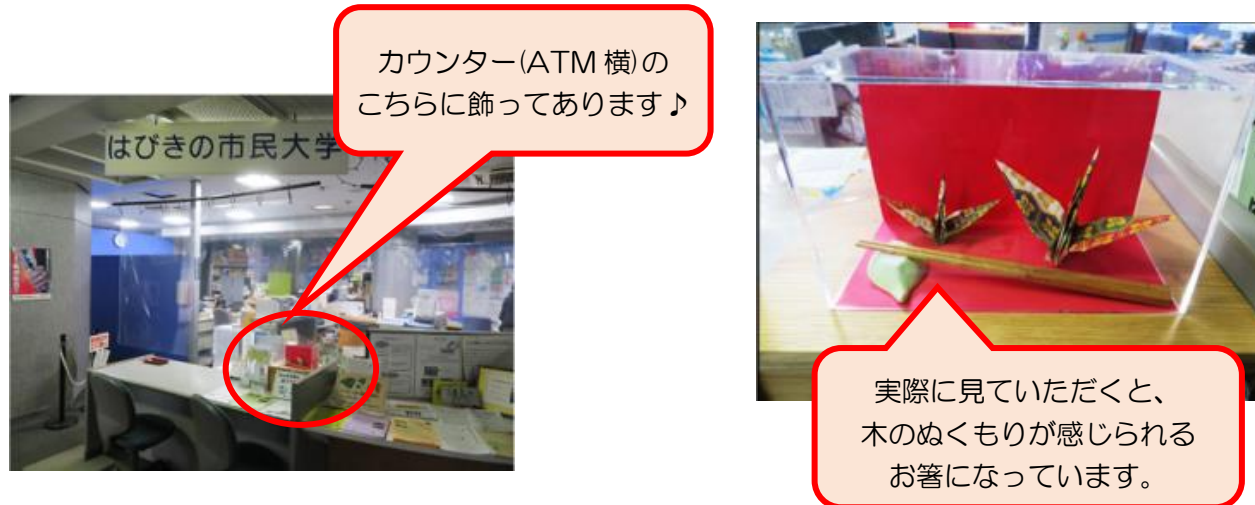
はびきの市民大学情報誌  
**はびきの市民大学だより**

公開講座

**My おはしづくりワークショップ**

申込  
受付中!!

「My おはしづくりワークショップ」を3月27日(日)に開講します。先生に作成いただいた見本を、1階市民大学カウンターに飾っています。どんな感じのおはしが作成できるのか、ご興味ございましたら、お気軽にカウンターにのぞきにきてください!!



**3月27日(日)**

午前の部 10時00分~12時00分

午後の部 13時30分~15時30分

【会場】 LICはびきの2階交流ギャラリー

【受講料】 1,000円

【定員】 各30人 ※先着順

【申込期間】 1月11日(火)~3月20日(日)

【申込方法】 来館・電話・FAX

【支払方法】 来館・銀行振込

※申込に来館された場合、お支払いは同時に行っていただきます。  
 事務局が案内する期日内に、受講料をお支払いください。  
 一旦納付された受講料は返金できません。

【講師】 BASE-FURNITURE- 山本義行・坂本陽子

【対象】 子どもから大人まで、どなたでも申し込いただけます。



カンナを使って角棒から、自分の手にあったお箸を作りませんか?



- ・未就学児~小学校低学年のお子様は、保護者同伴でご参加ください。
- ・座席の十分な間隔を保つため、小学3年生以上の付添の方の入室はご遠慮いただきます。
- ・木くずや木の粉が出ますので、当日は汚れても良い服装でお越しください。

**学長コラム【第29回】**



河内厚郎  
(はびきの市民大学学長)

コナン・ドイルの「踊る人形」は、落書きのような絵にまつわる謎に、名探偵シャーロック・ホームズが挑む。それに勝るとも劣らぬ、長編推理小説のような『銅鐸の謎』(大羽弘道、光文社カップ・ブックス、1974)は、従来の定説をくつがえす意外な新説の連続で、読み始めると最後まで読み切ってしまう。

その謎解きの鍵は、銅鐸に铸込まれた模様が漢字渡来以前の日本の古代絵文字という発見にある。古代オリエント史を研究してきた著者は、聖書考古学の手法やエジプトのヒエログリフの研究を応用することで、日本にも独自の文字があったことを突きとめようとした。



さらに、埴輪は立体化した文字であり(先日、堺・大山古墳の埴輪部にも埴輪列が確認された)、ひらがなは漢字の草書体から生まれたのではなく、日本古来の絵文字・線文字にルーツがあるとの魅力的な仮説に発展していく。

定説への大胆な挑戦であり、当然ながら論争を巻き起こした。今ではトンデモ説に分類されているようだが、NHKでお馴染みの作家・歴史研究家の井沢元彦氏が好意的に紹介している。百舌鳥・古市の古墳群が世界遺産に登録されて再注目を浴びる今、人々の耳目を集めるあらたな説が登場するだろうか。

**2月の聴講のご案内**

⑬地域の変化とこれからの観光 【阪南大学提携講座】

土曜2限 13:00~14:30

2/5	コロナ禍における観光産業の苦境と反転への取り組み	阪南大学国際観光学部 准教授 大谷新太郎
-----	--------------------------	----------------------

⑮宮沢賢治と芸術・文化

日曜2限 13:00~14:30

2/6	宮沢賢治と造園・園芸	甲南女子大学文学部日本語日本文化学科 講師 森本智子
2/13	宮沢賢治と食文化	
2/20	〈宮沢賢治〉という現象	

■ 場所 羽曳野市立生活文化情報センター(LICはびきの)

■ 申込 来館、電話、FAX

■ 申込期間 当該講義日の1週間前から前日まで ※先着順。定員に達し次第、締め切りとなります。

■ 聴講料 1講義につき800円(当日支払)

**はびきの市民大学**

〒583-0854 大阪府羽曳野市軽里1丁目1番1号(LICはびきの内)  
 【TEL】072-950-5503 / 【FAX】072-950-5650

受付 9時00分~17時30分(2階学習情報室 9時30分~16時30分) ※閉室は祝日・振替休日・年末年始  
 ご提出いただきました個人情報につきましては、羽曳野市個人情報保護条例(平成12年羽曳野市条例第43号)に基づき適切に管理いたします。  
 ※障害への配慮が必要な場合は事前にご相談ください。  
 ※表記されている内容については予告なく変更になる場合がございます。

はびきの市民大学

検索

